

週 報

日本キリスト教団

みなみやま

南山教会

<年間聖句>

「あなたの未来には希望
があると主は言われる」

(エレミヤ書31章17節)

<年主題>

未来の希望を信じて歩む



Since 1947. 8. 1. 創立78周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 大塚 勁

信徒伝道師 大塚 棕

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「共にある」

ローマの信徒への手紙12章9節～21節

人は誰かしらと一緒に生きています。また、教会は共に神を見上げながら歩いていく共同体です。パウロは、いくつもの背景を持つ勧めの言葉を用いながら、他者とのように関わっていくべきかを記しています。

イエスは「主を愛すること、隣人を愛すること」を教えられましたが、パウロは、“愛”は自分以外の他者への熱意と献身をもって表されるとしています。愛を実践することが他者へと向かわずに自分自身だけに向かってしまう時、“愛”は“偽り”になってしまうのです。彼は、人間関係の基本を“兄弟愛”であるとしています。そして、キリスト者は個々の存在が神によって愛され生かされているということを認め、迫害してくる者であろうと祝福を祈り、呪いが呪いを生んでいく連鎖を断ち切って行かなければならないのです。そのような働きをなして行くには「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という御言葉が重要です。

共に喜び、共に泣くということは、関係をもっていくことです。イエス・キリストは、まさに小さくされた者に近づいて、共に泣き共に苦しむ方でした。他者のことは自分には関係ないという生き方をするのであれば、共感という感情は持たずに生きていくことになります。しかし、神は共感する神です。人間の弱さも破れも痛みも共感し、その御手を差し伸べてくださる神です。主イエスは十字架において苦しみを受けられました。だからこそ、痛みがあるところ全てに苦難の僕であるイエス・キリストは共にいてくださいます。

人間が、他者と一緒に何かをすることは簡単ではありません。様々な交わりを通して共にあること、祈り合うことを積み重ねていくのです。そして、すべての人は神が祝福された存在であるということに立脚するならば、「できれば、すべての人と平和に暮らしたい」という御言葉を実現していけると思います。共に喜び、共に泣き、共に生きる歩みをする時、何より神さまが私たちと共にあるということを覚えて、それぞれの場に遣わされていきましょう。(日下部蒔恵伝道師)

110114・10・1日

日曜礼拝

南山教会

南山教会
日曜礼拝・牧師説教

司 祭

讃 美 112 (共にある)

主の祈り 23-1-4

聖 書 マタイによる福音書 11章

11-26-33 (新約全書)

讃美歌 104 (共にある)

祈 禱 同僚

説 教 「共にある」

祈 禱 大塚 勁

今日の讃美歌は

讃美歌 104 (共にある)

献 金 15-1

讃 美 112 (共にある)

祝 禱

後 奏

… 聖 歌 …

礼拝の讃美歌はQRコードから
ダウンロードいただけます。

